

令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 幹事会（第2回）

会議の概要

- 会議名 令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 幹事会（第2回）
- 開催日 令和6年12月26日（木曜日）
- 出席状況 東京都、千代田区、港区、新宿区、文京区、台東区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、西東京市、国土交通省
- 議事の要旨
 - * 国土交通省より、騒音測定結果と部品欠落報告、固定化回避検討会に関する報告等について説明

【国土交通省から固定化回避検討会に関する報告】

- ・ 国土交通省より、12月24日に開催された、第6回羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会について、当日用いた資料の説明や、議論の内容について報告があった。

【主な意見及び国の回答等】

- ・ 大型機と小型機において、説明会での推計平均値を超えている測定局がある。データ分析や情報収集を行っているとのことであるが、国から指導していただかないと改善に繋がらない。また、推計平均値を超えている測定局の経路に、低騒音機を充てるといった具体的な対応をお願いしたい。
⇒ご指摘いただいた内容について、当局から各事業者に伝えるよう検討する。その他、あらゆる考察を行い、騒音軽減策を検討していく。
- ・ 燃料給油口のキャップが落ちたとのことであるが、正しく取り付けられていないとなると、大変危機感のある事案である。よく発生する事案なのか。
⇒こうした事案が海外で発生したことから、今回、資料に記載した対策を講じている。燃料給油口のキャップが外れたとしても燃料が漏れないような構造となっているが、落下物防止のため、航空会社に対して対策を義務付けている。
- ・ 羽田新飛行ルートの実用について、当区では昨年8月に実施した区民アンケートの結果を踏まえ、昨年10月と今年3月に国交省を訪問し、要望を行った。それ以降も住民負担の軽減に向け、固定化回避検討会において、具体的な方策の提示と実施を継続して求めてきたところである。今回の検討会で2つの飛行方式のうち、1つの方式については安全性の確認が取れたという結果が示されたところであるが、一方で具体的に現在の新飛行ルートからどう変わっていくのかについては示されていない。今回の結果は区として看過できるものではない。昨日、国土交通省を訪問し、今回の検討結果の区の受け止めについて、文書にて区長から大臣宛に申し入れを行ったところである。今後も検討を行っていくと発言があったが、この場を借りて、改めて住民の声を重く受け止めていただき、具体的な方策の

提示と実施をお願いしたい。また、昨日、1月の衝突事故の報告がされたとのことであるが、当然ながら飛行の運用に関しては安全に実施していただくことが大前提であることも合わせて申し入れさせていただく。

⇒要望について承った。

- ・ 出発における騒音軽減について、固定化回避検討会において検討された方式は採用されないという理解で間違いないか。また、固定化検討会に関する公表資料について、専門的な内容が多く、一般の方には難解な部分も多い。都や関係区市の担当者が説明できるような補助資料や情報提供をお願いしたい。また、固定化回避検討会に関しては期待する声も多いため、都民の声を受け止めていただき、引き続き検討をお願いしたい。

⇒採用しても騒音負担軽減に資する方策でないことを確認したため、採用には至っていない。また、要望について承った。

- ・ 固定化回避検討会に限定した話ではなく、飛行直下に住む方の不安の払しょくや、安全安心を担保するために、住民に対して教室型説明会を実施していただきたい旨、これまで繰り返し求めてきた。今回、固定化回避検討会については、様々な形で情報提供を行うものと思料するが、改めて教室型説明会の実施を要望する。また、1月に発生した羽田空港の事故について、引き続き原因究明と安全対策の徹底をお願いしたい。

⇒住民説明会の要望について、固定化回避検討会の議論を踏まえて検討する旨をこれまで伝えてきたが、今回の固定化回避検討会において ANP-AR 方式については技術的に採用可能であると結論が出たものの、直ちに導入することは困難である。飛行経路に変更が生じない現時点においては、令和2年の新飛行経路導入に際し実施したような住民説明会を行う予定はない。ただ、経路下の住民に対してのチラシ配布等で、幅広い地域の皆様に固定化回避検討会の開催結果をお知らせしようと検討しているところである。その他、国のホームページや専用の電話窓口等で、固定化回避の検討状況や新飛行経路のご質問、ご意見に対して丁寧な対応を行っていく。また、事故対策について、この夏に中間とりまとめ策を発表し、こちらに基づいて引き続き対応策を講じているところである。

以上